

「品格・礼節」にもつながる、社会人としての基本を学びました。 2年「勤労留学」に向けてのマナー講座 1月20日(火)

本校では、外部人材の活用を積極的に行うことで、学習活動の充実を図っています。今回、2年生の「勤労留学(職場訪問)」に向けてのマナー講座のご指導をお願いしました。講師は、昨年も1年生向けに「中学生のマナー基礎講座」でご指導いただいた、斎藤 貴子 様です。斎藤様は、元 JAL 国際線客室乗務員で、企業や国際会議等での接遇やその指導のご経験がある方です。1月20日(火)、5・6校時の2コマを使い、2階アリーナを会場に学年一斉に行いました。



1コマ目は、「挨拶」の仕方を中心に、その心構えや考え方、姿勢や立ち振舞い方などについてお話いただきました。

- ・正対する : 手を止め、相手に顔を向ける
- ・第一印象 : 笑顔、身だしなみの大切さ
- ・ポイント : あかるく・いつでも・さきに・つづけて
- ・挨拶 : 先言後礼
- ・3つのお辞儀: 会釈、敬礼、最敬礼

このなかで、マナーの基本として「相手を思いやる・みんなが気持ちよく生活する・心を形にする」ということをお話しされ、これは本校の校訓である「品格・礼節」につながることだと感じました。

2コマ目では、「言葉遣い」について中心にお話しいただき、3種類の敬語といった基本的なことだけでなく、丁寧さや好感がもたれる言葉の言い換え(クッション言葉)などもご指導いただきました。

途中、笑顔の練習や身だしなみのチェック、お辞儀の練習等、その都度実際にやってみたり、ペアワークで確認したりするなど、実践的で分かりやすい講義でした。



今回学んだ基礎的なマナー等は、職場訪問だけでなく、高校の面接試験や社会に出てからも使える、社会人として大切な力です。しかし、ただ知っているだけでは、そうした立ち振る舞いや言葉づかいができるようになるわけではありません。実際に使っていくことで身についていくものです。授業開始のお辞儀や職員室への出入り、先生との会話など、学校生活では実際に使う機会がいくらかでもあります。今回、学んだことを日頃から意識して使ってみてほしいと思います。そして、特に意識しなくても自然にできるような、**自分自身にとっての“本物の実力”**にしていってください。